前橋工業高等学校　学校評価一覧表 ①（元年度版）

（様式1）

表の見方　　具体的数値項目　A:充分達成できた　B:達成できた　C:もう少しで達成できた　D:達成できなかった

羅針盤			方策	第1回点検・評価				第2回点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート 生徒	外部アンケート 保護者	改善策	自己評価	外部アンケート 生徒	外部アンケート 保護者	改善策
Ⅰ　特色ある学校づくりに努めていますか。	1　特色ある教育活動を行っていま すか。	(1) 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	・創意工夫に満ちた教育活動を展開する。 ・各教科で体験的学習を取り入れる。 ・選択授業・少人数授業を実施する。 ・授業参観・授業研究会を実施する。	A	A	A	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が91.4%である。 ・分かり易い授業や第一志望の実現に向けて努力する。 ・教員相互の研究授業や授業研究等を通して教育技術の向上を図る。	A	A	A	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が89.6%である。 ・分かり易い授業や第一志望の実現に向けて努力する。 ・教員相互の研究授業や授業研究等を通して教育技術の向上を図る。
		(2) 生徒が在学中に1回以上インターンシップに参加している。	・インターンシップ（短期・長期）を実施する。	C			・長期インターンシップ参加者6名、短期インターンシップ参加者166名。	D			・長期、短期インターンシップ参加者は3年生で173名、63%である。 ・吹奏楽部が前橋高等養護学校や前橋市立養護学校と交流した。
		(3) 工業の特長を活かしたものづくりに積極的に取り組み、実習内容に満足している生徒が70%以上である。	・専門性を深めるため積極的な課外活動に取り組む。（各科研究部等） ・ものづくりが楽しくなる工夫を行い、生徒が積極的に参加できるようにする。	A	A		・各科研究部や課題研究の取組を中心に各種大会(ものづくり競技、アイディアロボット、マイコンカー、電気自動車等)の参加や各種資格取得に積極的に取組んでおり高い実績も残している。 ・ものづくりに関する実習に満足、ほぼ満足の生徒が94.1%である。	A	A		・各科研究部を中心に各種大会(ものづくりコンテスト、マイコンカー、電気自動車、からくり工夫展等)へ積極的に参加をし、好成績を収めつつ実績を重ねている。また、課題研究発表会を各科毎に実施し各科の代表を選出して全校発表会をおこなうことで各科の取組状況やものづくりの楽しさを伝え合うことができた。 ・生徒の満足、ほぼ満足の合計が100%である。
		(4) 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	・行事を充実させ、職員と生徒で運営できるようにする。 ・ＯＢや社会人による講演を行う。 ・前工生であるという帰属意識とプライドを醸成する。	B	B	B	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が87.1%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。 ・行事に積極的に参加する。	A	B	B	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が84.2%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。
	2　資格取得に積極的に取り組んでいますか。	(5) 資格取得指導に満足している生徒が80%以上である。	・資格・講習会の紹介により受験を促す。 ・補習指導を各係で実施する。 ・家庭学習や放課後の時間を有効活用する指導を行う。	B	A	B	・資格、検定試験についての説明を徹底する。 ・受験指導の方法を工夫する。 ・家庭用に通知した資格関係一覧表の活用を呼びかける。	B	B	B	・生徒が資格取得に興味が持てるよう職員の情報交換を進める。 ・掲示物や資格案内資料の情報紹介を検討していく。 ・生徒が資格指導に満足、ほぼ満足の合計が89.5%である。
Ⅱ　生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3　生徒は確かな学力を身につけていますか。	(6) 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	・生徒の実態に合った授業や、教材づくりなど各科でわかりやすい授業に取り組む。 ・授業における言語活動の充実を図る。 ・試験前、試験中に勉強会を行う。（学年） ・学習遅れの生徒へ補習する。（各教科） ・授業アンケートを基に授業改善に心掛ける。 ・ＩＣＴ機器を活用した効果的な指導を行う。	A	A	A	・生徒が学校の学習指導に満足、ほぼ満足しているの合計が82.8%である。また、保護者が学校の学習指導に満足、ほぼ満足の合計が88.9%である。 ・職員がステップアップサポート事業により、学び合い、アクティブ・ラーニングなど多様な学習形態を提供し、魅力ある授業を展開できるよう努力する。	B	A	A	・生徒が学校の学習指導に満足、ほぼ満足しているの合計が80.9%である。また、授業に対して真剣に取り組んでいる生徒が87.9%である。さらに保護者が学校の学習指導に満足、ほぼ満足の合計が90.1%である。 ・すべての職員がステップアップサポート事業で、アクティブ・ラーニングによる授業実践を行い、校内研修で共通理解が図られた。
		(7) 欠点保持者数は各学期で全校で10%以下である。	・成績不振者に対し補習授業を行う。 ・履修科目を修得させる努力をさせる。 ・基礎、基本の知識が定着する授業を展開する。	A			・1学期の欠点保持者数が3.35%である。 ・特定の科目で多数の欠点があることが多い。早期に欠点を解消させるように課題等を提出させるなど計画的に指導していく。	A			・2学期の欠点保持者数が9.6%である。 ・2年生に多数の欠点がある。早期に欠点を解消させるように課題等を提出させるなど計画的に指導していく。
Ⅲ　生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4　組織的・継続的な指導を行っていますか。	(8) 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度行っている。	・情報交換会を実施する。 ・各科と担任の情報交換を密にする。 ・定例学年会で情報交換する。 ・職員会議、成績会議で情報交換する。 ・各会議での情報を共有できるようにする。	A			・毎週実施している学年会議や科会議でクラスの現状報告をし、必要に応じて教育相談とも情報の共有を図っている。 ・各専門科と担任との情報交換を密に行う。	A			・教育相談係やスクールカウンセラー、臨床心理士と連携して、支援が必要な生徒に対応した。 ・学年会を月に4回実施し、情報交換した。
	5　生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(9) 家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による欠席・遅刻をなくし、1日平均遅刻者数は前年度の98%以下である。	・進路指導も見据えた指導を行う。 ・遅刻カード（イエローカード）の記入を徹底する。 ・欠席遅刻が多くなりそうな生徒には、家庭へ連絡して早期改善に努める。 ・基本的生活習慣を確立させる。	A	A	A	・遅刻者数は前年度比で88．5%であった。不登校傾向の生徒も少なく、基本的生活習慣が確立している生徒が多い。また、進路実現に向けて日常から出欠に対する意識が高い生徒が多い。	A	A	A	・全体的には基本的生活習慣が確立している生徒が多いため、遅刻数は減少した。特定の生徒に遅刻が目立つため、生活の見直しや意識の高揚を図る取組をしたい。また、不登校傾向生徒に対し、保護者との情報交換・連携のもと、SC面談や関係機関と連携し、支援・助言を実施したい。
		(10) 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査の必要のある生徒の受診率は80%以上である。	・検診結果により治療が必要な生徒に治療勧告を行う。 ・担任、養護教諭等で指導機会を増やす。 ・保健だよりを発行し、保健意識の啓発を図る。	B			・早期に専門医による治療や検査の必要な生徒(心臓・腎臓)が，2学期が始まるまでに受診したのは80%であった。心臓26人中22人、腎臓5人中3人である。未受診の生徒には、個別指導をして100%を目指す。	A			・夏休み以降、養護教諭を中心に個別指導を行った結果、心臓26人中24人、腎臓5人中5人が受診を完了した。まだ2人未受診ではあるが、受診率は90%を超すことができた。
	6　学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	(11) 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に各学期1回以上は行っている。	・学校生活アンケートや面談週間などで、悩みを学校職員に伝える機会を設け、未然防止や早期発見に結びつける。 ・生徒、保護者が中心となって、あいさつ運動を展開する。	A			・今年度現在までのいじめ認知件数は0件である。アンケートや面談週間、情報交換等を実施しているが、いじめは確認されていない。2学期も保護者も交えてあいさつ運動等を展開する。	A			・今年度、現在までのいじめ認知件数は2件であった。いずれも様態は軽度で、早期に対応できた。アンケートや面談週間では、いじめに関する情報を確認することはできなかったことから、今後のアンケート方法を改善する必要があると思われる。
		(12)学校は、「学校いじめ防止基本方針」について、1回以上生徒に説明している。	・年度当初に、全校集会で「学校いじめ防止基本方針」を説明し、いじめは絶対にあってはならないことを伝えていく。	A			・全校集会時やいじめ防止関連資料を配布して、いじめや人間関係のトラブル等の相談に関わる話と、「学校いじめ防止基本方針」について伝えた。	A			・「いじめ防止基本方針」の周知はできており、生徒は一定の理解をしていると思われる。また、相談窓口等を全校集会時や関連資料の配付・掲示により周知できている。
		(13)学校は、生徒がSNS(ツイッターやラインなど)やインターネットの危険性や正しい利用方法などについて、1回以上は学ぶ機会をつくっている。	・「ケータイ安全教室」を実施し、SNSによるトラブルやSNSに頼らない人間関係の構築に向け指導を行う。	A			・1学期に、全校生徒対象に「ケータイ安全教室」を実施。1学年には「サイバー犯罪被害防止教室」も実施した。また、「SNSに頼らない人間関係づくり」について学年毎にSCによるグループワークを実施した。	A			・「ケータイ安全教室」や「SNSに頼らない人間関係づくり」等の実施により、生徒の意識は高揚できたものと思われる。生徒が主体的に学べる機会をつくれるようにしたい。
	7　部活動に積極的に取り組んでいますか。	(14) 部活動に入部している生徒は60%以上である。	・新入生歓迎会（部活動ガイダンス）により、新入生への部活動加入を促す。 ・部活動の諸調整を行い活動の活性化を図る。	A			・新入生歓迎会や校歌指導等で部活動の加入を生徒会全体でサポートしていく活動ができた。 ・高校総体の壮行会や、全校で活躍している各部に対して壮行会を行いながら部活動の活性化を推進できた。 ・文化祭においても、各部活動と協力しながら生徒や外部に対して活動発表できる機会を設けていきたい。	A			・今年度は文化祭を実施し、、部活動顧問や生徒の協力のもと、本校の部活動実績や活動状況を対外に向けて広く発信できたと思われる。まずは、新入生に向けて部活動を丁寧に紹介していく機会を設定し、積極的な加入を促していきたい。
Ⅳ　生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8　計画的な指導を行っていますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	・先輩と語る会や３年生と語る会を実施する。 ・進路希望調査を実施する。（年２回） ・進路講話や進路ガイダンスを計画的に実施する。 ・進路補講（２年３学期～）を実施する。 ・各科との協力のもと、企業見学やインターンシップを実施する。	A			・進路行事は、計画したとおり実施できているが、生徒や保護者などの要望も取り入れながら、より良い進路ガイダンスにしたい。 ・生徒の第一志望の進路実現に向けて努力する。	A			・年度初めに計画した進路関係の行事をすべて実施できた。今後は、進路行事の見直しや改善等を含め、より精選された進路指導計画に努めたい。
		(16) 学校からの進路に関する情報について満足している保護者が80%以上である。	・進路のしおりを作成し配布する。 ・保護者対象の進路説明会を実施する。 ・ホームページを活用し、進路行事や進路状況を載せる。 ・２者及び３者面談を実施し、進路希望の確認を行う。 ・配布物を保護者に見せるよう、学級担任と協力して生徒を指導する。	A		A	・進路情報に満足している保護者の割合が90．5%(昨年度は86．0%)となった。 ・今まで以上に、ホームページの活用や更新をまめに行い、進路情報を載せる。	A		B	・進路情報に満足している保護者の割合が89．2%となった。保護者からの意見や要望を取り入れながら、進路情報を提供できるようにしたい。 ・ぐんまスクールネットメール連絡網やWebページをさらに活用できるようにしたい。
	9　生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	・進路だよりを定期的に発行する。 ・進路のしおりを作成し、全生徒に配布する。 ・進路相談室の充実を図る。 ・図書館に進路コーナーを設置し、生徒への情報提供を行う。	A	A		・利用しやすい環境作りに努め、丁寧な進路指導を行う。特に、進学指導についても力を入れていきたい。 ・進路実現に向けて積極的に取り組む割合は、昨年度と同様の85．1%であった。さらに意欲的に取り組める工夫をしたい。	A	A		・キャリア教育の推進を図るとともに、今後も生徒にとって利用しやすい環境づくりに努めたい。また、進路相談についても適切で丁寧な進路指導を心がけたい。
Ⅴ　開かれた学校づくりに努めていますか。	10　家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	・オープンスクールを行う。 ・学校公開を実施する。 ・県民向け高校開放講座を実施する。	A			・7月22日から7月26日の間オープンスクールを実施した。 （参加者・・・中学生12名保護者12名） ・8月7日学校説明会（中学生622名保護者350名参加） ・現在学校公開は、7回計画中の6回実施している。	A			・10月12日に第2回学校説明会を計画したが、台風のため中止となった。参加予定者数は、314名であった。 ・学校公開は7回実施した。
		(19) 保護者全員を対象とした学級担任による面談を年1回以上実施している。	・全校一斉の３者面談週間を設ける。	A			・6月11日から6月22日の間、全校でクラス担任、生徒、保護者の3者面談を実施した。 ・修学旅行保護者会や進路説明会など学年行事の際にも面談を実施する。	A			・6月10日から6月21日の間、全校でクラス担任、生徒、保護者の3者面談を実施した。 ・修学旅行保護者会や進路説明会など学年行事の際にも面談を実施した。
		(20) PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	・学級懇談会や学年保護者会を実施する。 ・保護者への連絡を周知徹底するため、案内文書に加えメールでの案内も送る。 ・家庭との連絡を密にする。（担任） ・課題研究発表会や予餞会等では、保護者に案内を送る。	B		B	・PTA総会を土曜日に開催しているが、参加者は29%で目標数に達していない。 ・クラス通信やホームページ、メールの活用など学校の様子が保護者に分かるように情報を発信する。 ・PTA総会や保護者会、進路説明会等にほぼ参加、参加の保護者の合計が57.2%である。	B		B	・PTA総会を土曜日に開催しているが、参加者は 29%で目標数に達していない。 ・クラス通信やホームページ、メールの活用など学校の様子が保護者に分かるように情報を発信する。 ・PTA総会や保護者会、進路説明会等にほぼ参加、参加の保護者の合計が 52.7%である。
		(21) 学校の活動内容や生徒の状況を年12回以上伝え広報活動も行っている。	・ホームページの内容を随時更新する。 ・中学３年生向けの学校説明会時やオープンスクール時に配布して広報する。 ・中学校訪問時に配布して広報する。 ・中学校への出前授業を実施する。	A		B	・前工通信(新聞)や学校案内を作成し、中学生だけでなく同窓会等の会合にて配布している。 ・ホームページの更新を月1回以上行っている。 ・電気科と土木科が中学校への出前授業を行った。	A		B	・新しいスタイルで前工通信(新聞)や学校案内を作成し、中学生だけでなく同窓会等の会合にて配布している。 ・ホームページの更新は25回以上行っている。 ・前工メールを有効活用していく。